

アントレプレナーシップ入門

—CASE の補足資料—

第 10 章 最良チームをつくる

CASE ●サイボウズ:チームを支える仕組みをつくるチーム

サイボウズ社全体のインターネットや情報技術戦略にかんする記事は、日経情報ストラテジーなどにかかなり数多く記載されている。また通常の日経ビジネス誌などにおいても、特にソフトウェア・エンジニアの人的管理に関わることでの工夫について、多くの記事が記載されている。特に、起業チームから現社長を引き継いで務めている青野氏のインタビューが豊富である。

残念ながら、起業後わずか 3 年での上場以前、創業当初の各メンバーの考え方や行動が克明に記録された系統的な資料はあまり公的にはオープンに刊行されてはいない。それでも上場前後におけるインタビュー記事は、ネット上にも残存している。たとえば、Cinet Japan 等による記事などもその 1 つである。当時の経営上の試行錯誤に関して考える上で、高須賀氏からの社長交代時期については、参照してみる価値はあるかもしれない。

● 「成功の定義は上場とは限らない」

——サイボウズ青野社長が語る「起業論」 Cinet Japan

<http://japan.cnet.com/news/biz/20218249/>

● 「原点回帰に転換しグループウェア世界一を目指す」 週刊ダイヤモンドオンライン

http://diamond.jp/go/pb/managing_board/kigyojin/02/2.html

なお、創業に関わったアントレプレナーである青野自身の考え方を示す文献としては、次のようなものもある。

■青野慶久『ちょいデキ！』文春新書，2007年

※著作権は著者に帰属します。

※私的使用および、大学等の講義・ゼミ等の教育目的に限って使用できます。